

テーマ

おせっかいが地域を変える、意識を変える ～子どもの貧困に対する取り組み～

お話しして下さる方 **栗林知絵子さん**

NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長

期日 **2015年 7月 4日(土) 午後2時～4時半**

会場 **日本教育会館 2階 東京教組会議室**

都営新宿線・三田線 ×トロ半蔵門線 神保町駅下車4分 JR 水道橋下車 15分

参加費 **1000円**

「子どもの貧困」が深刻です。就学援助を受給する子どもは年々増加全国平均15%をこえ、特にシングル家庭の厳しさが際立っています。そんな中で起こった川崎の中学1年生の殺害事件。シングルの母が長時間働く中で誰も子どものSOSを受け止められなかったことが報道されています。いまだに献花が絶えず多くの方が「どうにかできなかつたか」という思いを語っています。

国は2013年「子どもの貧困対策法」を制定していますが、貧困の実態に政策が追い付いていない感があります。子どもたちへ優先されるべきことは何なのでしょう。

今回は地域で子どもの居場所づくりをされている「豊島子ども WAKUWAKU ネット」の栗林さんにお話を伺います。WAKUWAKU ネットの活動は多彩。学習支援やプレーパークの活動、シングルマザーの居場所づくりさらに子ども食堂など、地域の人々を巻き込みながら多くのボランティアスタッフと共に奔走されています。地域にそんな場所があったらと思えることを次々に実現され「子どもの今」に向かわれています。評論でなく実行の栗林さんにその思いや秘訣を伺いたしたいと思います。

今年度は「子どもの貧困と教育」をテーマに学習します。さらに具体的な行動に繋がれば良いと思います。地域で共にがんばっている女性や、もちろん男性も、保護者の方にも声をかけ、ぜひ多くの方の参加をお願いいたします。



<主催> 子どもと女性の人権を考える東京の会
<事務局> 東京教組女性部 ☎03-5276-1311